

令和7年3月2日 薬剤師の在宅訪問業務に関する研修会

# 在宅医療現場における 医療的ケア児に関わる多職種連携 医療材料を中心に



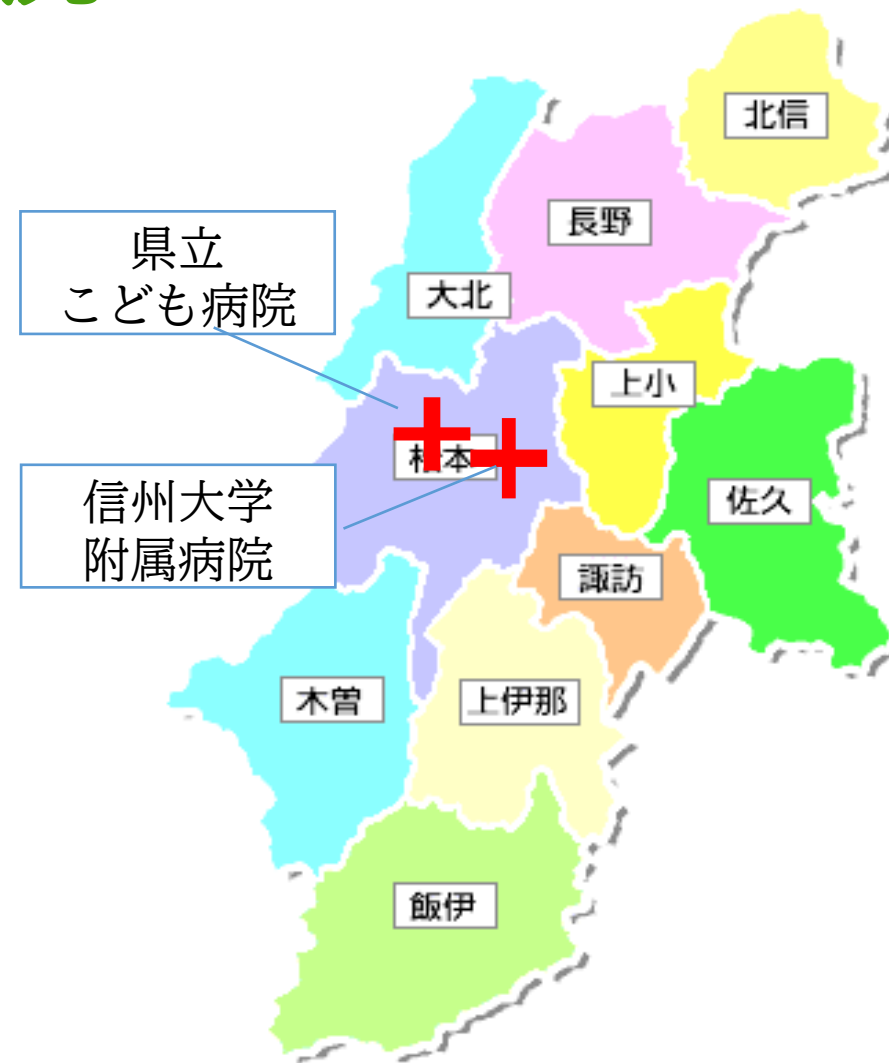
しあわせ信州

長野県障がい者支援課在宅支援係  
長野県医療的ケア児等支援センター  
副センター長 亀井智泉

この報告にかかるCOIはありません。

# 長野県の医療的ケア児支援状況

圏域数	10圏域
人口	約200万人
医療的ケア児等の人数	約600人 <small>(各圏域の更新・把握による人数)</small>
上記のうち、人工呼吸器使用134人、経管栄養271人 未就学142人、6歳~18歳319人、18歳以上147人以上	
医療的ケア児等コーディネーターの配置 (令和6年度)	13名 5圏域3市1地域
保育所・幼稚園・認定こども園に通い、 看護師によるケアを受ける医療的ケア児	13名 (R5年度)
特別支援学校における医療的ケア児数 (看護師による医療的ケアを受ける児)	155人 (R5年度)
小・中学校における医療的ケア児数 (看護師による医療的ケアを受ける児)	62人 (R5年度)
医療型短期入所事業所数	18事業所 (R5.8.1現在)
小児受入訪問看護ステーション	67事業所



各圏域の周産期医療センターが小児在宅医療の中核病院として機能している

# 長野県の学校に通う医療的ケア児の現状（人）

		H28年度	29年度	30年度	R元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
特別支援学校	学校数	17	17	17	16	16	17	17	17
	看護師数	25	30	31	33	36	42.6	44.5	79
	児童生徒数	117	122	120	131	152	158	157	155

小中学校	学校数				28	36	44	49	51
	看護師数				56	70	87	86	97
	児童生徒数				35	46	54	57	62
	市町村数				12	12	16	19	18

保育所	保育所数			2	8	11	14	12	13
	看護師数			6	19	25	30	18	19
	利用児数			2	8	12	14	13	13
	市町村数			1	5	7	9	9	12

小中学校：「教育支援体制整備事業補助金」実績より

保育所：「保育対策総合支援事業費補助金」実績より

# こどものライフステージに ずっと寄り添う かかりつけ薬局

グループホームに  
入所する人も・・・

特別支援学校のみならず  
地域の保育園・学校にも

お家に  
訪問支援

療育：児童発達支援

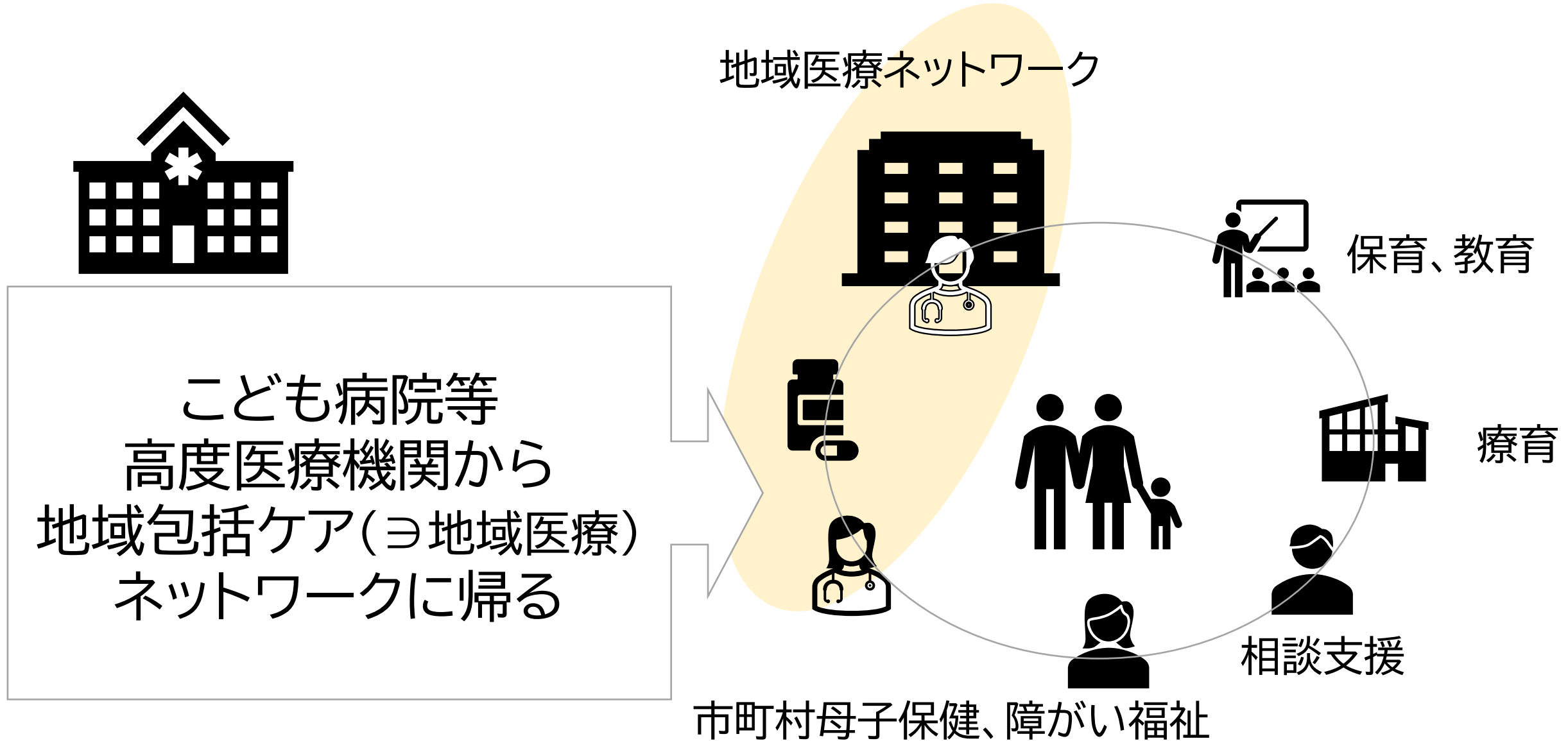
放課後等デイサービス、  
生活介護事業所  
就労支援A型,B型 等  
地域の居場所

薬剤師の訪問支援

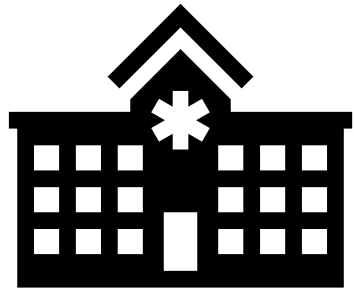
訪問診療・訪問看護

医療型短期入所

# 「主治医病院」と地域医療、地域生活支援の連携



# 情報を多層に共有することを目指しています

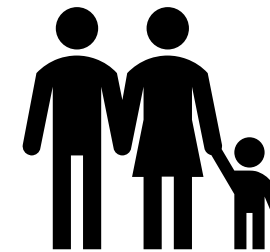
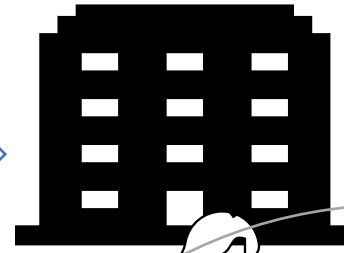


診療情報提供

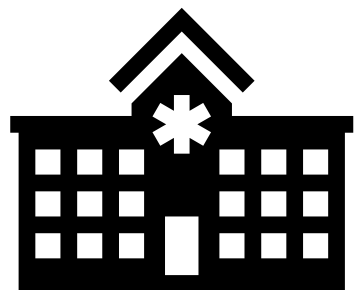
処方せんも地域の  
かかりつけ薬局へ

看護サマリーは訪問看護  
とかかりつけ医療機関へ

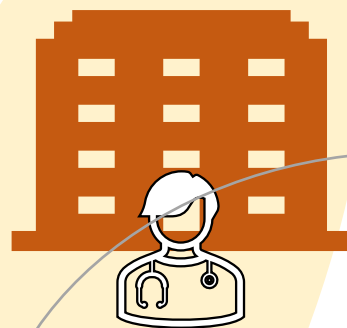
家族支援に必要な情報を保健師に



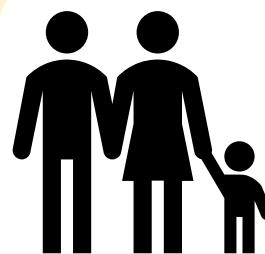
# 現状：なぜか地域の「中核病院」の影が薄い・・・



地域医療ネットワーク



保育、教育



療育



相談支援

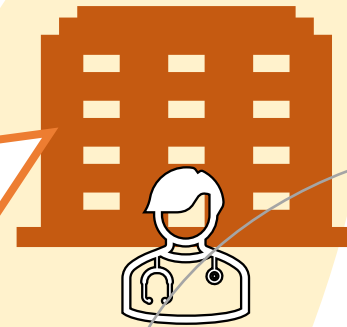
市町村母子保健、障がい福祉

胃ろうチューブ、  
気管カニューレ等の交換に  
こども病院に通い続ける  
方が多い

# 地域の医療機関主治医病院(=管理料をとる)になりきれないのは…「医療材料」にも一因がある?!



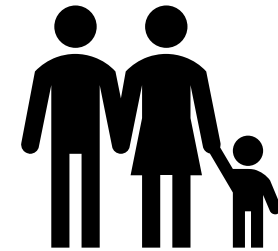
地域医療ネットワーク



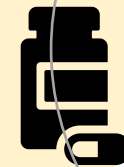
保育、教育



療育



相談支援



市町村母子保健、障がい福祉

小児は少数派である上に  
特性が多様で  
医療材料も個々に違う  
成長・身体の変化に伴う  
サイズ・種類の変更も多い  
…デッドストックが  
医療機関の経営に負担

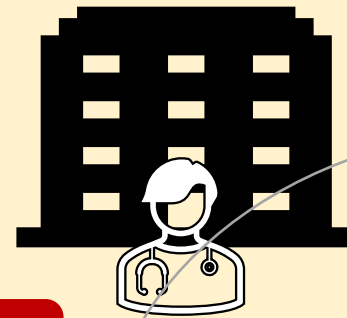


# 医療材料をかかりつけ薬局の訪問支援で、 お薬と一緒に届けてもらえたら・・・

地域医療ネットワークの強化につながる！



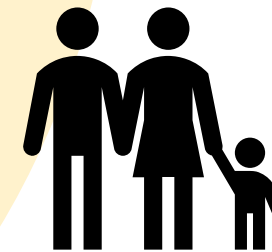
かかりつけ薬局で  
お薬のように、使い勝手の  
相談ができればいいな。  
それを主治医や訪問看護  
と共有していただけたら  
とっても助かります！



保育、教育



療育



相談支援

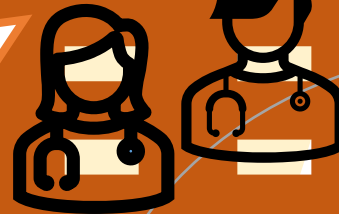
市町村母子保健、障がい福祉

# 地域の医療機関への移行が進めば その病院を中心に成人移行期医療も描けるかも・・・



地域医療ネットワーク

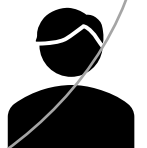
訪問看護やかかりつけ薬局の  
助言を得ながら、地域医療機  
関内の小児科と各診療科が  
相談しながら専門分化、移行  
していくという体制構築の  
可能性がある(?)



保育、教育



療育



相談支援



市町村母子保健、障がい福祉

地域の支援チームに薬剤師さんがいてくれることで  
成人移行期の薬の変化、医療材料の変化にも対応できる



地域医療ネットワーク



保育、教育



療育



相談支援



市町村母子保健、障がい福祉

身体が大人になったら  
薬も医療材料も変化します。  
チーム全体が変化に対応  
できるように、他職種への  
助言をお願いします！

ご清聴ありがとうございました。

